

自由研究をまとめる場合の

大判用紙とスケッチブックの使い方

休み明けに、学校まで持ち運んできて、学級で発表することを考えると、以下のような使い方をした方がよいようです。

□ 大判用紙の使い方〔多くても5枚程度にしてください。〕

- ① 大判用紙は八つ折り〔十六折り〕に折って持ち運びしてください。
- ② 折った後、裏面の角に番号をふってください。
- ③ 折り目を付けてから、文字を書いたり、図や写真を貼り付けたりすることで、レイアウトが楽になり、図や写真と折り目が重なることも防げます。〔折り目上に図や写真を貼らないようにできる。〕

※ 丸めて筒状にして持ち運ぶのはやめてください。 巻癖が付いてしまいます。また、戻す際時間がかかり掲示や発表に大きな支障が出ます。

※ 罫線は引かれていますが、広いかく場所の確保が必要です。

□ スケッチブックの使い方

- ① 四つ切りサイズ〔F6〕以上の縦長スケッチブックを推奨します。
- ② 1枚目に、定規で測りながら罫線を引きます。
- ③ コンパスの針や千枚通しなどで、1枚目の罫線の両端を、スケッチブックのページの最後まで貫き通します。
- ④ 2枚目からは、両端の穴を目印にして、1ページ目と同じ罫線を引きます。

※ 罫線を引くのはたいへんですが、机上でかくことができます。

※ ページの制限がないのである程度たくさんかけます。



大判用紙やスケッチブックの使い方を説明しましたが、これらは強制するものではありません。みなさんの、工夫を取り入れた使い方を期待いたします。

